

## 2008年ロサンゼルス国際大会が地区に割戻し(リベート)を提供する理由

ロータリアンから「理事会はなぜ、2008年ロサンゼルス国際大会に2007年7月1日付けの会員総数の2パーセント以上を登録した地区に割戻しを与えることに同意したのか」という質問が寄せられています。

今日の財政的な厳しさを考慮すると、国際大会が赤字を出さないことが極めて重要です。ロサンゼルス2008年国際大会委員会は、昨年開かれた会合で、北米における近年のロータリー年次大会の平均出席者数が24,000人以下であることを認識しました。よって、同委員会は、近年の平均出席者数を基にした出席者数を用いて、2008年ロサンゼルス国際大会の均衡予算を推奨することに同意しました。

同時に、出席者数が見積りの数字を超えれば、登録者1人当たりの費用が減少することを踏まえ、割戻しを提供することとなったのです。しかし、個人やクラブに対して払い戻しを行うことは、大変難しいと考えられます。一方、地区を対象とすれば、この割戻しの提供は容易に実行できると考えられます。下の枠内の例をご覧ください。

24,000人の出席者総数は、ロータリーの世界全体の会員総数である120万人の2パーセントに相当します。従って、ロータリアンとそのゲストも含め、2パーセントを超えて登録した地区に、段階的に増加する割戻しを提供することに決定されたのです。2パーセントを超え4パーセントに満たない範囲の登録には、登録者1人につき15ドルの割戻しが提供されます。4パーセントを超えた場合、その時点から追加される登録者1人につき、割戻し額は25ドルと増加します。同様に6パーセント以上となった場合には、その時点からの登録者全員に1人35ドルの割戻しが提供されます。

ここで、2007年7月1日時点で会員総数が2000人である地区が、200人を登録した場合を例に取り、割戻しの具体的な計算を例示します。

1. 最初の40人の登録者は、割戻しの対象となりません。
2. 次の40人の登録者はそれぞれ15ドルずつの割戻しを受け、その小計は600ドルとなります。
3. 次の40人の登録者はそれぞれ25ドルの割戻しを受け、その小計は1000ドルとなります。
4. これに加えて80人の登録者があった場合、1人当たりの割引は35ドルで、その小計は2800ドルとなります。
5. 従って地区に払われる割戻しの合計額は、4400ドルです。

ただし、これにはいくつかの重要な条件が適用されます。

1. 割戻しの対象となるのは、成人登録者のみである。
2. キャンセルした場合は、その分が全体登録数から差し引かれる。
3. 地区への割戻しは2008年9月30日までに小切手で支払われる。

地区は受け取った割戻しを自由に使うことができます。登録者の旅費の一部に充てたり、次期クラブ役員や次期地区役員の参加費用に充てたり、クラブまたはロータリアンに対する奨励金として使用したり、地区のプロジェクトに充てるなど、使い道はさまざまです。小切手は地区を受取人として、2008-09年度地区ガバナー宛に送られます。